

令和5年度 事業報告

【事業報告の概要】

全世界に猛威を振るった新型コロナウイルス感染症については、令和5年5月8日に「5類感染症」に変更され、季節性インフルエンザと同じ対応となりました。移行により、これまで自粛を余儀なくされていた催し物や集まりなど少しずつ緩和され、外に出掛ける機会も増え、人と人が交流する場面が増えた一年でありました。

一方、ロシア・ウクライナ情勢や円安などにより原油価格や飼料代の高騰からガソリン価格や電気・ガス代など物価が上昇し、家計への負担が増しております。

さらに、令和6年1月1日に発生した石川県能登半島を震源とする地震により、北陸地方を中心に人的及び家屋への甚大な被害が発生し、自然の猛威、命の尊さを改めて痛感いたしました。大垣市社会福祉協議会（以下「本会」という。）といたしましては、共同募金会大垣市支会として被災地への義援金の窓口を開設したほか、被災地である珠洲市社会福祉協議会に職員を派遣し、災害ボランティアセンター立上げ・運営等を支援しました。

さて、少子高齢化の進展、住民相互のつながりの希薄化や家族形態の変容、地域社会では社会的孤立や貧困、格差、虐待などの深刻な課題が浮き彫りにされております。

その中、本会では、「第4次地域福祉活動計画」に基づき、20地区社会福祉推進協議会と協働した福祉のまちづくりの推進、ボランティア市民活動支援センターによるボランティア市民活動の推進、家庭・学校・地域が一体となった福祉共育の推進、更には地域包括支援センター、障害者生活及び就労支援センター、日常生活自立支援事業、生活困窮者等自立支援事業、認知症初期集中支援事業等がワンチームとなり、本人・世帯の属性にかかわらず受け止める相談支援体制の充実を図りました。

その「第4次地域福祉活動計画」は令和5年度、実施最終年度にあたりました。これまでの事業を評価して、事業体系の見直しを図り、地域福祉の“羅針盤”となる「第5次地域福祉活動計画(令和6～10年度)」を策定しました。計画は、「くらし支える、支えあう ～あなたもわたしも安心して暮らせるこのまちのために～」を基本目標として、総合的なサービスの展開を目指すものです。

また、「第5次地域福祉活動計画」の下支えとなる計画として、住民に必要とされる団体となるため、組織体制の強化や事業推進、財務管理への取り組み指針として「第4次中期経営計画」も策定しました。

介護保険法や障害者総合支援法関連の諸サービス、指定管理施設については、市民の信頼に応えつつ、職員と利用者の健康と安全を確保し、必要な福祉サービスの提供を持続するため、ウイルス感染症の予防を徹底し、利用者様の生活の安定を図り、その方が望む生活を営むための適切で質の高いサービスを提供できるよう事業を実施しました。

「持続可能な開発目標（SDGs）」を推進する組織として、一人ひとりが自らの力で解決する自助の力と、互いに助け合う互助の力、そしてそれらを支える共助・公助の力、その力の一つひとつを結ぶ架け橋を目指し、積極的に事業を遂行しました。

【使命・経営理念への取り組み】

「基本方針」を柱として4つの「使命・経営理念」の実現への取り組み。

- (1) 住民参加・協働による福祉社会の実現を図りました。
- (2) 地域における利用者本位の福祉サービスの実現を図りました。
- (3) 地域に根ざした総合的な支援体制の実現を図りました。
- (4) 地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取り組みへのたゆみない挑戦を図りました。

【重点目標への取り組み】

「使命・経営理念」の実現に向けて、6つの重点目標を掲げ、その目標の達成への取り組み。

- (1) 社協基盤の強化の推進を図り、安定した財政基盤の確立に努めました。
- (2) 福祉のまちづくりの推進を図り、地域福祉活動の活性化に努めました。
- (3) ボランティア・市民活動の推進を図り、ボランティアセンター機能の充実に努めました。
- (4) 福祉共育、啓発・交流の推進を図り、ともに生きる地域社会の実現に努めました。
- (5) 情報提供・相談体制、福祉課題の把握の推進を図り、総合的な相談体制の充実に努めました。
- (6) 在宅福祉サービスの推進を図り、質の高いサービスの提供に努めました。

大垣市社会福祉協議会のSDGs宣言 10の目指すゴール



1 総務部会

(1) 組織機能

ア 理事会、評議員会、専門部会の活性化

法人組織体制の強化を図るため、理事会、評議員会、専門部会、特別委員会（訪問看護ステーション運営・専門委員会）等を開催しました。

【会議開催状況】

名 称	日 付	主 な 内 容
理事会	4月1日(土) (決議の省略)	1. 常務理事の選定について
	5月17日(水)	1. 令和4年度 事業報告の承認について 2. 令和4年度 収支決算の承認について 3. 評議員候補者の推薦について 4. 役員候補者の推薦について 5. 令和6年度 共同募金配分事業の申請について 6. 令和5年度 定時評議員会の招集について 7. 会長及び常務理事の職務執行状況について
	6月2日(金) (決議の省略)	1. 理事候補者の推薦について
	6月16日(金)	1. 会長、副会長及び常務理事の選定について
	9月20日(水)	1. 令和5年度 第1次収支補正予算について 2. 令和5年度 第2回評議員会の招集について
	10月5日(木) (決議の省略)	1. 理事候補者の推薦について 2. 令和5年度 第3回評議員会の招集について
	3月19日(火)	1. 令和5年度 第2次収支補正予算について 2. 令和6年度 事業計画について 3. 令和6年度 収支予算について 4. 苦情解決にかかる第三者委員の選任について 5. 役員等賠償責任保険契約について 6. 施設長他重要な職員の任免について 7. 令和5年度 第4回評議員会の招集について 8. 会長及び常務理事の職務執行状況について
評議員会	6月16日(金)	1. 令和4年度 事業報告の承認について 2. 令和4年度 収支決算の承認について 3. 役員の選任について
	9月29日(金)	1. 令和5年度 第1次収支補正予算について
	10月20日(金) (決議の省略)	1. 理事の選任について
	3月28日(木)	1. 令和5年度 第2次収支補正予算の承認について 2. 令和6年度 事業計画の承認について 3. 令和6年度 収支予算の承認について

名 称	日 付	主 な 内 容
法人内監査	5月10日(水)	事業報告、計算関係書類及び財産目録等の適正執行の承認
評議員選任・解任委員会	5月25日(木) (決議の省略)	1. 評議員の選任・解任委員について
総務部会	5月12日(金)	1. 令和4年度 事業報告について 2. 令和4年度 収支決算について 3. 第5次地域福祉活動計画・第4次中期経営計画について
	11月29日(水)	1. 第5次地域福祉活動計画(案)について 2. 第4次中期経営計画(案)について 3. 第5期大垣市指定管理施設 管理者の指定について
	2月2日(金)	1. 令和5年度 決算見込(概要)について 2. 令和6年度 事業計画(案)及び収支予算(案)について 3. 第5次地域福祉活動計画・第4次中期経営計画について
地域部会	4月21日(金)	1. 令和4年度 事業報告について 2. 第5次地域福祉活動計画・第4次経営改革計画の策定について
	11月28日(火)	1. 第5次地域福祉活動計画(案)について 2. 第4次中期経営計画(案)について
	1月29日(月)	1. 令和5年度 部会事業進捗状況について 2. 令和6年度 部会事業計画及び予算(案)について 3. 第3次地区社協活動計画の策定について 4. 第5次地域福祉活動計画・第4次中期経営計画の策定について
ボランティア部会	5月2日(火)	1. 令和4年度 事業報告について 2. 第5次地域福祉活動計画・第4次経営改革計画の策定について
	11月29日(水)	1. 第5次地域福祉活動計画(案)について 2. 第4次中期経営計画(案)について
	1月30日(火)	1. 令和5年度 部会事業進捗状況について 2. 令和6年度 部会事業計画及び予算(案)について 3. 第5次地域福祉活動計画・第4次中期経営計画の策定について
事業運営部会	5月2日(火)	1. 令和4年度 事業報告について 2. 総合相談事例について 3. 第5次地域福祉活動計画・第4次経営改革計画の策定について
	11月30日(木)	1. 第5次地域福祉活動計画(案)について 2. 第4次中期経営改革計画(案)について

	1月30日(火)	1. 令和5年度 部会事業進捗状況について 2. 令和6年度 部会事業計画及び予算(案)について 3. 第5次地域福祉活動計画・第4次中期経営計画の策定について
訪問看護 運営委員会	2月28日(水)	1. 運営状況について 2. 専門委員会の報告について
訪問看護 専門委員会	10月25日(水)	1. 職員体制について 2. 利用者状況・症例について
	1月24日(水)	1. 職員体制について 2. 利用者状況・症例について

イ 正副会長会の開催

法人運営の業務執行状況の確認や、理事会、評議員会の議案調整のため正副会長会を開催しました。

【開催状況】

日 付	主 な 内 容
5月17日(水)	1. 令和5年度 第4回理事会について

ウ 苦情解決に関する取組みの充実

本会が提供する福祉サービスに係る利用者等からの申し入れに対して、早期の的確な対応に努めました。苦情等の問題発生に備え、第三者委員の設置をするほか、ヒヤリハット等の取組みを行いました。

エ 社会福祉法人地域公益実践推進事業

社会福祉法人の責務として位置づけられている「地域における公益的な取組み」の推進を図りました。

公益的な取組	内 容
あんしん見守りネットワーク	誰もが孤立することをなくし安心して生活ができるよう地域での見守り活動及びネットワークの構築
食事サービス	ボランティアによる手作りや購入したお弁当を持参し、地域の絆づくりや、ふれあい・見守り活動の一環として実施
ふれあいいいきサロン	高齢者が気軽に集まり、楽しく過ごせる場づくり
お散歩カフェ	相談支援及び介護予防の拠点として、住民が気軽に集まる場づくり
買い物支援	高齢者の生活課題(買い物支援)の解決のため、地域で調査を進めながら実施
支え合いの会	地域での支え合う仕組みづくりを推進
みんなで支え合いバンク	生活でお困りの方に対して、相談や支援に結び付けるため、簡易なフードバンクを実施
地区社協との連絡調整	地域ニーズを把握し、解決できるよう地域活動の調査・研究、資源開発

また、大垣市社会福祉法人連携協議会に加盟している24法人と、公益的な取り組みの推進及び新たな社会資源の役割について情報共有を図りました。

オ 職員育成の充実

職員の資質向上を目的に、法人内研修を実施しました。また、他機関が実施する外部研修にも計画的に職員を派遣しました。

(ア) 管理・監督者合同研修 総合福祉会館

9月27日(水) 13:30~15:30

労務管理について

10月17日(火) 13:30~15:30

人事考課制度における考課者訓練について

11月13日(月) 13:30~15:30

階級における役割、ハラスメント対応について

講師 (株)中部人材育成センター伏屋社会保険労務士事務所

平下 和代氏

参加者 所属長・補佐・係長 30人

職員全体研修会 総合福祉会館

12月5日(火) 16:30~17:15

お金・投資等に関する内容について

講師 大垣共立銀行 本店営業部

天木 準哉氏

参加者 常勤・嘱託職員(希望者) 48人

(イ) 実習生の受入れ

社会福祉の専門家(社会福祉士・介護福祉士)や看護師等をめざす学生に、人材育成の一環として実習の場を提供しました。

カ 役員研修の実施

とき 2月15日(木) 16:00~ ところ 総合福祉会館

参加者 役員等(地区社協会長及び連合自治会長) 27名

内容 講演 「地域におけるこどもの居場所づくりの推進について」

講師 岐阜県社会福祉協議会 子ども居場所応援センター

和田 慎太郎氏、村瀬 裕二氏

おばあちゃんちの子ども食堂西っ子(岐阜市長良西地区)

杉山 満光氏

(2) 財政基盤

ア 住民会員、会費制度の充実

関係機関と連携し、魅力ある社協をめざし、社協活動のPRに努め、賛助会員への理解を求めるとともに、会員の確保を図りました。一般会員数(世帯数)48,912世帯、特別会員2件、賛助会員283件、施設会員78件

イ 積立金・基金の拡大及び運用

社協独自の自主財源を確保することを目的に、積立金・基金の確保や資金運用に努

めました。

ウ 効果的な資金運用

資金運用について研究を深め、公益性のある法人として、ボランティア活動振興基金等の運用益を事業に運用しました。

エ 共同募金・歳末たすけあい運動の推進

共同募金会大垣市支会として、関係機関と連携し、共同募金・歳末たすけあい募金活動の推進を図りました。

「戸別募金」「法人募金」「学校・職域募金」「街頭募金」やバッジ・図書カード・クオカードによる募金等を実施しました。また、能登半島地震等における被災地への義援金も実施しました。(43件 779,502円)募金活動の計画的実施、募金の拡大を図ることを目的に、共同募金会大垣市支会理事会を開催しました。

【開催状況】

日 付	主 な 内 容
5月17日(水)	1. 令和4年度 事業報告及び決算について
6月16日(金)	1. 支会長・副支会長の選定について
3月19日(火)	1. 令和6年度 事業計画及び予算について

(3) 指定管理施設の運営管理

第4期(令和元年度～令和5年度)指定管理者として、総合福祉会館、かわなみ作業所、老人福祉センター(大垣、上石津、墨俣)、デイサービスセンター(上石津、墨俣)の適正な管理・運営を図り、施設機能の住民理解をさらに深め、利用者ニーズの充足を第一としてサービスの提供を行いました。(※かわなみ作業所は特定指定として平成26年度から10年間の管理を実施)また、引き続き第5期(令和6年度～令和10年度)指定管理者に向けて申請手続きを行いました。

(4) 広報活動の強化

ア 大垣市社会福祉大会

福祉功労者の表彰及び福祉講演により、福祉の啓発を図りました。

と き 8月5日(土) 10:00～11:30

と ころ 大垣市情報工房 5階 スィンクホール

・表彰及び感謝状 11団体 109個人
(会長表彰:2団体・109個人、会長感謝状:9団体)

・福祉標語の表彰 7作品入賞

(応募総数:1,784作品)

一般の部: 18作品(内入選1作品)

小学生の部: 1,156作品(内入選4作品)

中学生の部: 610作品(内入選2作品)

・記念講演『たすけてと言える社会に～受援力を高めよう～』

講師 神奈川県立保健福祉大学 ヘルスイノベーション研究科
教授 吉田 穂波 氏

イ 社協だよりの発行

社協事業について1人でも多くの市民に理解していただくため、市内全戸配布による「社協だより」を発行しました。社協会費(4/15)、共同募金依頼(9/15)のため、法人社等にも配布しました。

<年6回、4, 6, 7, 9, 12, 1月15日発行> 発行部数 約57,000部

社協だよりアンケートモニターを募集し、令和5年度は5名から延23回の回答をいただきました。

ウ インターネット、ソーシャルメディアを活用した広報活動の充実

市民に対してタイムリーな福祉情報の提供をめざして、随時ページの更新をしました。さらに、社協NOW(ブログ)を活用して、市社協行事や地区社協活動等、さまざまな地域福祉活動を掲載しました。

・アクセス総件数：119,501件(昨年度：121,825件)

《ホームページ月別アクセス総件数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
R05	14,020	9,527	9,963	9,287	8,145	7,584
R04	11,870	10,880	13,962	9,948	11,718	8,901
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
R05	9,776	10,654	10,068	9,851	8,050	12,576
R04	8,976	9,945	10,171	8,940	6,790	9,724

社協情報誌の発行

「社協のあらまし・地区社協活動のてびき(概要版)」の作成

自治会長・民生児童委員・福祉推進委員(地区代表・副代表)等に配布しました。

エ 広告掲載事業

広告主となる企業等による地域貢献活動と、社協の地域福祉活動の財源確保を目的に、有料広告を掲載しました。

掲載料：広報誌(1区画5,500円/号)、ホームページ(1区画3,300円/月)

掲載企業数：7社(広報誌6社、ホームページ3社)

(5) 介護・障がい福祉サービス事業等

ア 居宅介護支援事業

ケアマネジャー(介護支援専門員)が要介護認定を受けた方を対象に、本人やご家族の希望を取り入れ、利用者のニーズを意識した介護サービス計画を作成しました。

また、介護サービスがスムーズに実施されるよう、サービス実施機関等との連絡調整を行いました。

① 大垣居宅介護支援事業所

《計画作成件数(要支援)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	60	60	61	58	58	64	64	64	62	62	66	69	748
R04	70	69	65	67	66	64	63	61	61	62	58	60	766

《計画作成件数(要介護)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	224	226	223	222	216	211	217	218	223	219	216	219	2,634
R04	223	221	226	224	225	229	228	218	225	222	219	223	2,683

② 上石津居宅介護支援事業所

《計画作成件数(要支援)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	29	29	30	32	28	30	27	30	30	31	32	32	360
R04	30	31	34	34	30	30	29	28	28	28	29	28	359

《計画作成件数(要介護)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	100	107	104	98	99	98	99	102	104	102	94	99	1,206
R04	96	99	95	96	96	96	100	100	105	102	100	100	1,185

イ 障がい者サービス 特定相談支援事業

障害福祉サービス等の利用を希望する障がい者(児)の、総合的な援助方針や解決すべき課題を踏まえ最も適切なサービスの組み合わせ等について検討し「サービス等用計画」の作成、見直し等を行いました。

《計画作成件数(障がい者)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	24	25	29	33	30	24	24	23	26	38	24	25	325
R04	23	22	26	29	33	20	27	23	22	32	30	27	314

《計画作成件数(障がい児)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	3	1	2	1	2	2	3	1	2	1	2	2	22
R04	2	3	2	2	1	3	2	2	2	1	2	3	25

ウ 訪問介護事業

利用者が安心して安全に在宅生活を継続できるよう、介護保険及び障害者総合支援法による良質なサービスの提供を図るとともに、様々な利用者ニーズに対応するため、サービス提供責任者による定期訪問や管理者を中心とした問題解決を行いました。

① ホームヘルパー室

《利用者数(総合事業)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	64	68	69	68	66	69	63	66	63	56	53	51	756
R04	75	76	74	74	71	71	70	69	66	79	64	64	853

《利用者数(要介護)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	82	78	80	80	76	71	71	72	69	66	65	70	880
R04	93	96	92	93	96	94	91	88	88	86	86	86	1,089

《延利用回数(要介護のみ)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	937	919	886	814	820	839	850	801	856	765	782	848	10,117
R04	1,113	1,141	1,118	1,095	1,111	1,081	1,033	1,015	1,018	969	923	1,135	12,752

② ホームヘルパー室(障がい)

《利用者数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	57	57	59	59	59	59	60	61	61	62	61	61	716
R04	60	60	58	59	63	61	58	61	59	61	55	56	711

《延利用回数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	719	719	749	733	758	704	727	733	733	643	685	704	8,607
R04	791	788	790	795	780	776	787	768	763	684	708	803	9,233

エ 訪問看護事業

大垣市訪問看護ステーション

小児から高齢者まで、病気やケガにより在宅での療養が必要な人に対し、住み慣れた家庭や地域社会で安心して療養生活が送れるよう、主治医の指示のもと褥瘡や各種経管の管理、介護相談等24時間緊急体制で看護サービスを提供しました。また、医療的ケア児に対し、学校への訪問活動を提供しました。

理学療法士等が日常生活自立に向けてリハビリテーションを実施しました。

《利用者数(介護保険)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	87	84	82	79	80	82	84	86	81	85	84	86	1,000
R04	89	89	90	90	89	89	86	82	81	81	81	83	1,030

《利用者数(医療)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	47	50	45	48	50	49	46	48	49	48	49	51	580
R04	49	51	48	51	48	54	51	49	46	48	46	54	595

《延利用回数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	1,058	1,089	1,126	1,075	1,141	1,105	1,116	1,086	1,088	1,044	1,049	1,101	13,078
R04	1,098	1,093	1,193	1,119	1,200	1,080	1,062	973	1,001	942	957	1,168	12,886

オ 通所介護事業

通常自宅で行われている入浴や食事の支援や、機能訓練、余暇活動、バイタルチェック等の専門的な支援を行い、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持と家族の介護支援を図りました。

① 上石津デイサービスセンター (指定管理施設)

《利用者数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	64	67	65	64	62	63	61	60	62	62	64	60	754
R04	71	73	72	72	71	70	72	74	72	70	66	66	849

《稼働率》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R05	73.08	78.27	80.26	77.31	65.73	76.15	75.13	72.31	73.21	69.86	73.87	71.28	73.87
R04	89.62	90.77	89.23	89.62	84.44	77.05	81.92	86.92	80.90	78.61	73.75	77.78	83.38

② 墨俣デイサービスセンター (指定管理施設)

《利用者数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	37	38	39	37	36	36	35	33	35	34	33	34	427
R04	34	37	37	39	36	37	35	38	39	39	37	38	446

《稼働率》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R05	54.77	56.44	58.00	55.08	55.26	54.00	51.08	52.31	56.92	54.83	54.72	50.15	54.46
R04	51.69	52.31	55.38	53.38	51.85	53.38	51.23	54.46	58.77	59.00	56.50	58.96	54.74

③ 福祉の館 デイサービス青野 (地域密着型)

令和5年6月より営業日を週3日(月・木・土)としました。

《利用者数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	9	8	8	8	6	4	4	6	7	6	6	5	77
R04	11	10	10	11	11	10	10	10	11	9	9	10	122

《稼働率》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R05	46.80	38.15	58.46	51.43	43.85	32.31	30.00	40.00	42.31	39.17	40.00	38.46	41.74
R04	42.69	43.46	46.92	47.31	42.59	40.38	44.62	44.23	40.00	36.25	40.42	47.41	43.02

カ 障がい者サービス 生活介護事業・就労継続B型事業

かわなみ作業所運営事業（指定管理施設）

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業所として、生活介護事業及び就労継続支援B型事業の指定を受け、障がい者に生産活動等の機会を提供しました。

① 生活介護事業【定員：65名】

利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、通所により生産活動の機会の提供、創作的活動、排泄及び食事の介護、その他の便宜を適切かつ効果的に行うことを目的として施設を運営しました。

② 就労継続支援B型事業【定員：35名】

通所により就労や生産活動の機会を提供するとともに、一般就労に必要な知識、能力が高まった方には、一般就労への移行に向け支援することを目的とし施設を運営しました。

生活介護事業 《利用者数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	58	59	57	58	58	60	59	59	59	58	59	61	705
R04	60	61	61	61	60	59	60	60	60	59	59	59	719

《延利用回数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	1,096	1,113	1,205	1,078	1,092	1,121	965	1,098	1,046	957	1,052	1,121	12,944
R04	1,106	1,093	1,254	1,019	881	1,046	1,151	1,139	1,039	1,015	881	1,182	12,806

就労継続支援B型事業 《利用者数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	34	34	34	34	34	34	34	34	33	34	33	35	407
R04	33	33	33	33	33	33	34	34	34	34	34	34	402

《延利用回数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	638	629	715	597	644	649	580	620	597	558	589	627	7,443
R04	626	607	693	590	511	615	637	652	593	585	496	698	7,303

キ 障がい者サービス 共同生活援助（グループホーム）事業

① かわなみホーム

通所施設等を利用する障がいのある方に、住居を提供し日常生活に必要な介護及び支援を行うことにより、地域生活における入居者の自立と社会参加を促進することを目的とし、かわなみ作業所と連携を図りながら入居者の支援を行いました。

入居定員 19名（入居者18名・体験利用者1名）

《利用者数(入居)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	17	17	16	16	16	16	16	16	16	16	15	16	193
R04	18	18	18	10	17	17	17	17	18	18	18	17	203

《利用者数(体験)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	8	8	8	11	10	12	7	9	8	8	7	10	106
R04	8	10	11	0	5	6	6	6	4	2	2	6	66

《延利用回数(入居)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	381	369	387	369	379	363	324	358	353	342	339	383	4,347
R04	390	373	413	192	307	373	398	385	369	372	310	406	4,288

《延利用回数(体験)》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	32	33	36	31	34	34	26	28	30	30	31	34	379
R04	19	20	32	0	17	20	29	25	26	22	19	32	261

ク 障がい者サービス 短期入所（ショートステイ）事業

① かわなみホーム短期入所事業

日ごろ支援をされているご家族が病気等の理由により支援が難しいなどの場合に、短期間での入所をしていただけるよう、ホーム内に2部屋専用の部屋を設けて、運営を行いました。（入居定員 2名）

《利用者数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	14	16	16	15	14	12	13	15	14	12	13	16	170
R04	9	7	11	11	7	10	12	16	16	12	14	12	137

《延利用回数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	55	59	57	50	60	60	52	52	56	50	57	61	669
R04	57	43	63	55	35	33	49	56	59	49	45	65	609

ケ 老人福祉センター運営事業（指定管理施設）

健康増進・入浴・教養の向上及びレクリエーション、各種相談の場として、高齢者のための便宜を総合的に供与することを目的に運営しました。

① 大垣市老人福祉センター

	開館日数	個人入館者数	入浴者数	団体入館者数	趣味の教室利用者数	合計
R05	294	2,793	5,970	3,042	3,552	15,357
R04	294	3,002	6,571	3,595	3,379	16,547

② 大垣市上石津老人福祉センター

	開館日数	個人入館者数	入浴者数	団体入館者数	趣味の教室利用者数	合計
R05	245	5,578	3,922	2,917	69	12,486
R04	244	5,063	3,289	2,153	56	10,561

③ 大垣市墨俣老人福祉センター

	開館日数	個人入館者数	入浴者数	団体入館者数	趣味の教室利用者数	合計
R05	244	2,220	1,134	41	3,898	7,293
R04	244	2,726	1,342	95	4,408	8,571

コ 総合福祉会館運営事業（指定管理施設）

① 大垣市総合福祉会館

市民の福祉活動の拠点とし、市民の福祉向上に寄与することを目的に運営しました。

《利用件数等》

	開館日数	ホール	会議室等	視聴覚室	調理室	合計
R05	360	187	1,456	108	24	1,775
R04	359	175	1,388	104	11	1,678

《利用者数》

	ホール	会議室等	視聴覚室	調理室	合計
R05	5,913	20,644	552	374	27,483
R04	7,344	17,926	512	124	25,906

サ 福祉バス運営事業（市受託事業）

福祉団体等の社会参加活動を目的に運営しました。

《利用件数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	1	4	1	3	3	5	6	6	6	0	2	2	39
R04	0	3	2	3	0	3	4	6	4	0	1	0	26

《利用者数》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R05	8	46	10	25	33	52	66	60	59	0	16	30	405
R04	0	26	16	25	0	0	46	45	35	0	15	0	208

2 地域部会

(1) 地域福祉活動計画の事業推進

ア 地域福祉活動計画の推進及び評価

策定した第4次地域福祉活動計画（期間：令和元年度～令和5年度 5ヶ年）を推進し、実施事業の評価を行いました。

令和4年・5年度は第5次地域福祉活動計画を策定しました。

(2) 地区社協活動の強化（地区社協メニュー事業の実施）

ア 地域住民福祉活動の推進を支援

地区担当職員が地域活動への相談支援を行いました。

地区担当職員相談支援数（地区社協事業、見守り、サロン、食事サービス、研修会等）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件	162	146	141	95	57	131	113	142	151	96	93	95	1,422

(ア) 地区社協を強化する事業の推進（部会、委員会の開催、地区社協福祉大会等）

市内全地区で地域諸団体が役割分担をもち、各部会（委員会）を設置し、相互の調整を通して組織的な運営を行い、広く地域住民への理解を得るための地区社協活動の支援を図りました。

a 地区社協総会（評議員会）日程（全地区）

地区名	開催日	地区名	開催日
興文	8月25日(金)	江東	4月7日(金)
東	5月24日(水)	川並	4月(書面)
西	5月26日(金)	中川	3月25日(土)
南	5月6日(土)	和合	4月29日(土)
北	6月11日(日)	三城	4月22日(土)
日新	4月28日(金)	荒崎	4月22日(土)
安井	5月12日(金)	赤坂	5月18日(木)
宇留生	4月15日(土)	青墓	4月22日(土)
静里	4月14日(金)	上石津	5月29日(月)
綾里	4月18日(火)	墨俣	3月30日(木)

b 地区社協福祉大会の開催（15地区）

地区功労者の表彰、体験発表、講演などを各地区にて行いました。

地区名	開催日	地区名	開催日
興文	11月11日(土)	中川	9月3日(日)
西	2月18日(日)	和合	9月23日(土)
南	11月5日(日)	三城	10月28日(土)
北	11月26日(日)	荒崎	10月29日(日)
安井	10月22日(日)	赤坂	11月19日(日)
宇留生	11月12日(日)	青墓	10月15日(日)
綾里	8月5日(土)	上石津	11月3日(金)
川並	11月12日(日)		

(イ) 福祉の心を育てる事業の推進（地区社協だよりの発行、福祉推進委員研修会等）
地域住民等へ福祉に対する理解を深め、福祉のまちづくりにつながる事業を支援しました。

a 地区社協だよりの発行

地区社協活動を地域住民に周知することを目的に実施されました。

b 子どもの意見を聞く会

日常生活の中で福祉に関する体験を通じた子どもの意見発表が実施されました。

静里：1月20日（土）

(ウ) 福祉の輪を広げる事業の推進（歳末友愛訪問、三世代交流事業等）

地域住民全体のふれあい交流活動を通して、福祉の輪を広げる事業へ支援しました。

a 歳末友愛訪問事業（全地区）

市内全地区社協でひとり暮らし高齢者、寝たきりの方等に対し、歳末友愛訪問が実施されました。（対象者：2,788人）

b 三世代交流事業

三世代の地域住民がふれあう交流事業が実施されました。

東：8月19日（土） 西：10月22日（日） 安井：7月22日（土）

静里：10月15日（日） 墨俣：5月20日（土）

c 三世代意見交換会

三世代の意見交流を図る事業が開催されました。

西：2月18日（日）

d 住民運動会

大人と子どもがスポーツやレクリエーションを通じてふれあいや交流が図られるよう、各地区にて実施されました。

東：5月20日（土） 南：5月3日（水） 三城：5月20日（土）

青墓：10月29日（日）

(エ) 「地区社協推進活動に対する助成要綱」に基づく事業への支援

助成要綱に基づき、地区社協事業への支援を行いました。

一般会費からの助成事業		共同募金、歳末募金からの助成事業	
助成事業名	助成金額	助成事業名	助成金額
事業活動補助金	11,005,120円	歳末友愛訪問事業	2,091,000円
福祉推進委員研修会	189,600円	高齢者を囲む会	630,500円
地域防災力向上推進事業	600,000円	ふれあいいきいきサロン	2,230,000円

イ 地区社協のてびき等の作成

地区社協活動の周知・活性化のため「みんなでいいまちつくろうよ 社協活動のあらまし」ダイジェスト版を作成、地区社協会長、民生児童委員、福祉推進委員（代表）他に配布しました。また、冊子版については、ホームページからダウンロードできるようにしました。

(3) 地区社協との連絡調整

ア 地区社協連絡会の開催

各地区代表者との連絡調整を行いました。

第1回：6月1日(木) 総合福祉会館

第2回：2月1日(木) 総合福祉会館

イ 地区社協活動計画の評価と進捗状況の把握

20地区社協で作成された地区社協活動計画に基づき、各地区で展開されている事業の進捗状況を把握し、確認や評価を行いました。

ウ 調査・研究事業

地域で暮らす多様な人々が、団体の地域活動や支え合い活動へ積極的に参加できるよう地域活動に対する調査を実施しました。(あんしん見守りネットワーク活動状況・緊急連絡のてびき・生活支援活動等)

エ アフターコロナを見据えた地域福祉再生ビジョン事業(市受託事業)

新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止や縮小となっている地域福祉活動を活発化することを目的として地域福祉講演会を開催しました。

【第1回】

開催日：6月18日(日)

開催場所：市民会館ホール

内容：ふれあいのまちづくり推進大会と併せて開催

【第2回】

開催日：2月22日(木)

開催場所：情報工房5階スィンクホール

内容：・講演「ウィズコロナにおける地域福祉活動の推進と活性化」

講師 岐阜協立大学 経済学部 准教授 後藤康文氏

・パネルディスカッション

民生児童委員協議会・赤十字奉仕団

保護区保護司会・福祉推進委員連絡会

(4) 重層的な地域支えあいネットワーク活動(「見守りネット&ネット」)の推進

ア ふれあい・いきいきサロンの設置・運営

(ア) 20地区社協主催「ふれあい・いきいきサロン」の設置、運営の推進

高齢者が気軽に集まり、楽しく過ごせる場所をつくることを目的に20地区社協を基盤として、各自治会にて登録されました。(助成対象サロン数：223ヶ所)

地区名	自治会数	実施自治会数	サロン数	地区名	自治会数	実施自治会数	サロン数
興文	55	7	7	江東	20	13	12
東	28	16	7	川並	10	9	8
西	29	19	16	中川	19	18	18
南	28	10	7	和合	8	7	7

北	55	31	18	三城	37	21	8
日新	16	13	13	荒崎	12	12	9
安井	21	11	9	赤坂	22	20	15
宇留生	26	26	6	青墓	13	13	13
静里	14	14	14	上石津	40	27	22
綾里	15	14	6	墨俣	22	20	8
				合計	490	321	223

(イ) 地区別サロン活動推進研修会の開催

地区社協ごとにサロン研修会、交流会の開催を支援しました。

(研修、交流内容：各いきいきサロンの活動報告、貸出備品体験、情報交換等)

西：5月10日(水) 中川：10月7日(土) 墨俣：6月20日(火)、10月10日(火)

イ 福祉推進委員活動の支援（福祉推進委員研修会に対する支援）

(ア) ふれあいのまちづくり推進大会の開催

開催日：6月18日(日)

開催場所：市民会館ホール

内容：全体研修

地区社協による活動実践報告（墨俣地区社協）

講演 「みんなが安心して暮らせる 福祉でまちづくり
～地域共生社会の実現に向けて～」

講師 中部学院大学 人間福祉学部 教授 佐甲 学 氏

ふれあいのまちづくり事業の一環として、小地域における住民参加型による地域福祉活動を行うため、福祉推進委員を各自治会単位に設置しました。490自治会からの推薦により、879人を委嘱しました。自治会内50世帯に1人の設置を推進しました。

地区別福祉推進委員数(任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日)

地区名	自治会数	推進委員数	地区名	自治会数	推進委員数	
興文	55	63	江東	20	37	
東	28	39	川並	10	22	
西	29	64	中川	19	69	
南	28	33	和合	8	22	
北	55	92	三城	37	48	
日新	16	33	荒崎	12	33	
安井	21	34	赤坂	22	49	
宇留生	26	48	青墓	13	41	
静里	14	43	上石津	40	50	
綾里	15	27	墨俣	22	32	
				合計	490	879

(イ) 福祉推進委員連絡会及び役員会の開催

各地区代表者との連絡調整を行いました。

a 福祉推進委員連絡会

第1回：6月6日(火) 総合福祉会館

第2回：2月6日(火) 総合福祉会館

b 福祉推進委員連絡会の部会開催

福祉推進委員連絡会において、部会ごとに分かれ、情報交換会を実施しました。

(ウ) 各地区福祉推進委員研修会の支援

市内全地区で福祉推進委員制度と福祉推進委員の役割、生活支援活動、あんしん見守りネットワーク事業などについて、地区ごとに自治会長、民生児童委員、福祉推進委員などが集り、研修会の開催を支援しました。

地区名	開催日	地区名	開催日	地区名	開催日
興文	7月1日(土)	綾里	4月15日(土)	荒崎	4月27日(木)
東	2月29日(木)		6月20日(火)		7月26日(水)
	3月29日(金)		3月12日(火)		2月21日(水)
西	5月10日(水)	江東	5月28日(日)	赤坂	6月29日(木)
	11月18日(土)		8月6日(日)		2月8日(木)
南	7月3日(月)		2月19日(月)	青墓	4月8日(土)
	11月2日(木)	5月24日(水)	6月16日(金)		
北	6月30日(金)	川並	2月21日(水)		2月9日(金)
	8月6日(日)	中川	4月15日(土)	7月21日(金)	
	2月18日(日)		5月13日(土)	11月13日(月)	
日新	4月29日(土)		10月7日(土)	1月29日(月) (多良)	
安井	6月25日(日)	和合	4月1日(土)	上石津	2月28日(水) (時)
	2月18日(日)		10月21日(土)		3月21日(木) (牧田・一ノ瀬)
宇留生	5月27日(土)	三城	5月6日(土)		墨俣
	2月10日(土)		11月19日(日)		
静里	6月20日(火)		1月20日(土)		

(エ) 福祉推進委員向けの情報誌「ねっとわーく！」の作成(発行月：6・2月)

ウ 食事サービス・高齢者を囲む会の推進

(ア) 各地区食事サービス・高齢者を囲む会の推進

a 食事サービス事業

ボランティアがお弁当を持ってひとり暮らし高齢者宅等を訪問し、配食サービスを通じた地域でのふれあい・見守り活動が実施されました。(各地区月1回～4回・昼食又は夕食)

対象高齢者：223人(延べ利用者数：4,856人)

ボランティア数：912人

実施地区：14地区15ヶ所(手作り11ヶ所、購入4ヶ所)

b ひとり暮らし高齢者を囲む会

地区内のひとり暮らし高齢者と地域ボランティアが集り、会食・レクリエーションなどふれあいを通して、交流が行われました。

実施地区：15 地区 1,261 人

(イ) 食事サービスボランティア代表者会議及び研修会の開催

食事サービスボランティア代表者を対象に代表者会議を開催しました。またボランティアの資質向上と食品衛生管理の徹底を目的に研修会を開催しました。

【研修会】

開催日：6月26日(月)

開催場所：総合福祉会館

内容：食品衛生に関する研修 講師 西濃保健所生活衛生課

【代表者会議】

開催日：3月19日(火)

開催場所：総合福祉会館

内容：情報提供、情報交換

エ 緊急連絡のてびきの作成

ひとり暮らし高齢者等の緊急時（災害等）に備えて、「緊急連絡のてびき」を民生児童委員の協力を得て作成及び配付するとともに、緊急時の情報利用の効率化を図り、あんしん見守りネットワーク活動につなげるため、データベース化を図りました。

緊急連絡のてびき作成数

地区名	自治会数	てびき対象者数	地区名	自治会数	てびき対象者数
興文	55	192	江東	20	159
東	28	197	川並	10	58
西	29	305	中川	19	301
南	28	210	和合	8	104
北	55	463	三城	37	266
日新	16	134	荒崎	12	158
安井	21	184	赤坂	22	291
宇留生	26	232	青墓	13	154
静里	14	196	上石津	40	167
綾里	15	59	墨俣	22	107
			合計	490	3,937

オ あんしん見守りネットワーク事業の推進

自治会を単位として自治会長、民生児童委員、福祉推進委員が連携をとり、誰もが孤立することなく安心して生活できるよう、見守り対象者への声かけ等を実施し、見守り活動を推進しながら、あんしん見守りネットワークの構築を図りました。

あんしん見守りネットワーク状況報告

地区名	自治会数	見守り対象者数	見守り会議実施数	地区名	自治会数	見守り対象者数	見守り会議実施数
興文	55	235	10	江東	20	146	2
東	28	284	11	川並	10	57	4
西	29	304	11	中川	19	288	19
南	28	229	9	和合	8	113	5
北	55	408	55	三城	37	256	12
日新	16	79	4	荒崎	12	185	7
安井	21	184	7	赤坂	22	255	22
宇留生	26	379	23	青墓	13	158	13
静里	14	216	14	上石津	40	680	40
綾里	15	99	7	墨俣	22	142	22
				合計	490	4,697	297

カ 地域支援ネットワーク委員会及び小地域支援ネットワーク会議（自治会単位）の開催
 地域で支援を必要とする方が、地域から孤立することなく住み慣れた地域で安心して継続した生活を営むことができるような体制整備（地域支援ネットワーク委員会及び小地域支援ネットワーク会議の開催）を推進しました。

各地区地域支援ネットワーク委員会日程一覧

地区名	開催日	地区名	開催日	地区名	開催日
安井	6月14日(水)	綾里	6月10日(土)	荒崎	6月28日(水)
	2月7日(水)		2月24日(土)		3月2日(土)
宇留生	6月21日(水)	中川	6月16日(金)	青墓	5月19日(金)
	1月17日(水)		2月8日(木)		12月20日(水)
静里	4月19日(水)	三城	6月14日(水)	上石津	6月21日(水)
	10月17日(火)		11月29日(水)		1月16日(火)

キ 地域防災力向上推進事業

地区社協及び地区防災士会と連携した災害時要援護者避難訓練を含めた防災訓練を各自治会単位で実施し、要援護者の把握と支援方法等の推進を図りました。

ク 見守り関係事業所との協定事業

市内の見守り関係事業所（新聞販売店、郵便局、金融機関、宅配業者等）と継続して見守り活動について連携を行い、見守り活動の強化と推進を図りました。

今年度は新たに2事業所と協定を締結しました。（合計70事業所）

(ア) 新規事業者

①株式会社シニアライフクリエイト ②株式会社アスピカ

(イ) 見守り関係事業所から気になる方や心配な方等の情報提供により、早期発見・早期対応を行い、見守り支援者や関係機関と連携し支援しました。

(相談件数14件…新聞販売店・水道検針会社)

- また、見守りホットニュースを発行し、報告事例について情報共有を図りました。
- (ウ) 大垣警察署と見守り対象者を子どもに広げたK（子ども・高齢者）M（見守り）K（声かけ）協定の推進を行いました。
- (エ) 見守りに関する情報共有を目的に見守り関係事業所連絡会を開催しました。
実施日：2月19日(月)
内 容：見守り関係事業所との情報交換、実績報告

ケ 生活支援事業

(ア) 買い物支援

高齢者の生活課題（買い物支援）の解決のため、綾里、青墓、上石津の3地区にて実施しました。

(綾里地区) 4月～3月

実施自治会数：1自治会

利用登録者数：12人

支援実績：運行回数…24回、延べ利用人数…215人

(青墓地区) 4月～3月

実施自治会数：4自治会

利用登録者数：32人

支援実績：運行回数…16回、延べ利用人数…136人

(上石津地区) 4月～3月

実施自治会数：5自治会

利用登録者数：43人

支援実績：運行回数…49回、延べ利用人数…202人

コ 地区防災士会の支援

大垣市地区防災士連絡会を開催し、各地区代表者との連絡調整を図りました。

第1回：6月23日(金)

第2回：3月18日(月)

サ 生活支援活動拠点整備事業

(ア) お散歩カフェ

相談支援及び介護予防の拠点を、「お散歩カフェ」の名称で整備し、住民が気軽に集まる場を提供しました。(3地区)

a 「おしゃべり広場東」(東地区) 毎週第1・3土曜日 東地区センター

開催日：22日 延べ利用者数：581人

b 「うるおい」(宇留生地区) 毎月第3土曜日 宇留生地区センター修明館

令和5年8月より再開されています。

開催日：8日 延べ利用者数：146人

c 「あやの」(綾里地区) 毎週水曜日 綾野公民館・綾里地区センター

開催日：46日 延べ利用者数：732人

(イ) お散歩カフェ わがまる地域勉強会（寄ってこ知ってこ）

お散歩カフェ「あやの」の利用者向けに、身近な場所で健康や介護、認知症など気軽に楽しく学べる講座を以下の通り実施しました。

開催日：7月19日(水) 8月23日(水) 10月18日(水) 12月20日(水)

開催場所：綾野公民館

内容：コグエボ体験、シルバーリハビリ体操、医療講話（大垣徳洲会病院）、健康講話（岐阜ヤクルト販売株式会社） など

3 事業運営部会

(1) 相談・支援体制の強化（総合相談窓口体制）

ア 地域包括支援センター事業

社会福祉士、保健師等、主任介護支援専門員の3職種を配置し、地域の高齢者の心身の健康保持と生活の安定のために必要な相談・援助を行い、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に進めました。大垣市より次の4エリアを受託運営しました。

【担当エリア】

エリア名	地区名	設置場所
中央地区	興文・東・西・南	総合福祉会館
西地区	南杭瀬・日新・静里・綾里・荒崎	
東・墨俣地区	和合・三城・墨俣	在宅福祉サービスステーション
上石津地区	上石津	上石津老人福祉センター

(ア) 総合相談・支援業務の実施

a 総合相談の実施

地域住民からの様々な相談を受けて、個別訪問等を行いどのような支援が必要かを把握し対応しました。

【相談件数:5,181件】

【相談内容:介護保険、認知症、福祉サービス、医療・保健、家族関係など】

b 地域ケア個別会議の開催

個別ケースの課題（認知症、家族関係、虐待など）について多機関・多職種で検討しました。

【開催件数：15件】

c 地域住民向けの広報誌の発行

「地域包括支援センターだより」を4・6・8・10・12・2月に自治会班回覧、民生・児童委員協議会等の関係機関に配布しました。

(イ) 高齢者等の虐待防止・早期発見・権利擁護事業の実施

a 高齢者虐待・消費者被害への対応

高齢者虐待、消費者被害の相談を受けて、個別訪問等を行いどのような支援が必要かを把握し、必要に応じて他機関との連携を行いました。

【相談対応件数：延べ160件】

（高齢者虐待 95件、成年後見 48件、消費者被害 17件）

b 地域の民協やサロンに出向き、高齢者虐待、消費者被害を予防する情報発信を行いました。

【地域活動参加件数：315件】

c 大垣市高齢者権利擁護研修会開催

大垣市・介護サービス事業者連絡会と共催して実施しました。

(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント業務の実施

a ケアマネジャーからの個別相談（介護保険、認知症、福祉サービス、生活困窮、家族関係、医療・保健など）を受けて指導・助言を行いました。

【ケアマネジャー相談件数：延べ 523件】

b 大垣市ケアプラン点検協働事業

各事業所より提出されたケアプランを通してケアマネジャーが抱えている課題を把握し支援する事を目的として実施しました。

【点検事業所：20か所】

- c 大垣市主任ケアマネジャーの会
市内の主任ケアマネジャーがリーダーとして、包括的・継続的ケアマネジメント体制づくりのための連携をしました。

対象者 48事業所 主任ケアマネジャー 77人

第1回 8月22日(火) 参加者 46人

内 容 認知症高齢者見守りについて

第2回 10月18日(水) 参加者 23人

内 容 スーパービジョン演習～実践してみよう～

第3回 2月14日(水) 参加者 43人

内 容 第2号被保険者への支援について

- d 大垣市介護サービス事業者連絡会との連携

事務局として会務の運営を担いました。

役員会 偶数月の第3水曜日

定例研修会 奇数月に1回

第1回 7月19日(水) 参加者 79人

内 容 「業務継続計画(BCP)の策定」について

第2回 9月21日(木) 参加者 97人

内 容 「大垣市高齢者虐待防止研修会」

第3回 11月15日(水) 参加者 72人

内 容 「認知症ケアとICTについて」

第4回 1月17日(水) 参加者 75人

内 容 「スタッフが気持ちよく働ける部下後輩指導の5ステップ」

第5回 3月19日(火) 参加者 199人

内 容 「介護保険制度改正について」

- e 認知症サポーター養成講座の実施：3件

- (エ) 介護予防ケアマネジメント事業(第1号介護予防支援事業)の実施

基本チェックリスト該当者、要支援と認定された方を対象に訪問型サービス、通所型サービス等必要な援助を行いました。

- (オ) 指定介護予防支援事業の実施

介護保険における予防給付の対象となる要支援者が介護予防サービス等の適切な利用ができるよう指定介護予防支援を行いました。

【介護予防ケアマネジメント事業・指定介護支援事業給付管理数：11,837件】

イ 認知症初期集中支援推進事業

令和5年6月に制定された認知症基本法をもとに、認知症の人との共生社会の実現を目的に相談支援、予防を重視した認知症予防事業の充実を図りました。

【相談件数】 新規相談：99件 継続：748件

【相談者】 本人・家族、地域包括支援センター、ケアマネジャーほか

【相談内容】 認知症の状態に応じた相談、専門医、医療機関、介護サービス調整ほか

【会議】 開催頻度：毎月1回(第2月曜日)

メンバー：認知症サポート医、認知症地域支援推進員ほか

新規チーム対応：30件、継続チーム対応：476件

【普及啓発】 笑話歯動場、認知症サポーター養成講座、地区社協、学校

【予防事業】 オレンジの泉、いきいきサロン、各種イベント

ウ 在宅介護支援センター事業

要介護高齢者及びその家族からの相談に対応し、また地域支援事業における介護予防事業を実施し、在宅で生活する一般高齢者及び要介護状態になる恐れのある高齢者の状態の維持・回復の支援に努め、介護予防教室（はじめの一步）を開催しました。

【参加者数：延べ808人】

開催場所/開催回数	参加人数
大垣市老人福祉センター(午前)/月1回	291
大垣市総合福祉会館(午後)/月1回	290
上石津老人福祉センター/月1回	96
墨俣老人福祉センター/月1回	131
合計	808

【内容】 運動と血圧、ロコモティブシンドローム、骨粗鬆症予防、膝痛・腰痛予防ほか

エ 障がい者生活支援センター事業

専門相談員を1人配置し、在宅で生活している障がい者に対して、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活を高めるための支援、介護相談及び情報の提供などを総合的に行いました。

(ア) 障がい者に関する総合的相談業務

(イ) ピアカウンセラーの配置（肢体6人（手話1人）、視覚1人、聴覚1人、内部1人）

【相談件数】 1,242件（相談員800件、ピアカウンセラー442件）

【相談内容】 社会参加・余暇活動、福祉サービス利用、健康・医療、就労、家族関係など

オ 障がい者就労支援センター事業

専門相談員1人を配置し、障がい者の社会参加と自立を促進させるため、「大垣市障がい者就労支援センター」において相談、職場や自宅への訪問等、障がい者の就労にかかる支援を行いました。

【相談件数】 新規相談件数：73件

（身体15件、知的10件、精神40件、発達3件、高次脳機能2件ほか）

継続相談件数：349件 支援延べ件数：1,576件

【一般就労者数】 3人

【福祉的就労者数】 17人

カ 福祉サービス利用支援センター事業

専門員1人を配置し、生活支援員や様々な関係機関と連携し、判断能力が不十分な方に対して福祉サービス利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等預かりサービスを行いました。

利用者数：60人 生活支援員数：3人

【相談対応件数 1,585 件】

	初回面談 件数	新規契約 件数	解約 件数	その他 件数	相談援助 延件数
認知症高齢者	7	1	6	2	320
知的障害者等	0	0	2	0	418
精神障害者等	7	4	4	1	847
不明・その他	0	0	0	1	0
合 計	14	5	12	4	1,585

キ 生活支援相談センター事業

生活困窮者自立支援法に基づき、生活にお困りの方に対して、専門的な知識、相談支援経験を有する主任相談支援員 1 人、相談支援員兼就労支援員 2 人を配置し、就労等の相談支援を行いました。

(ア) 相談実績

新規相談件数：216 件、プラン作成件数：70 件、就労支援対象者数：49 人
就労者数：9 人

(イ) 支援調整会議開催状況

計画に基づいた支援ができるよう支援調整会議メンバー（社会福祉課、ハローワーク、主任相談支援員、就労支援員兼相談支援員）で毎月 1 回、支援計画の確認や評価を実施しました。

開催頻度：月 1 回、プラン確認件数：70 件、評価件数：68 件

(ウ) 庁内連携会議

円滑な相談支援を行うことを目的に市役所庁内の関係課と情報交換を行いました。

a ひきこもり支援チームプロジェクト会議への参加（9 回）

内 容：ひきこもり支援に関する勉強会、情報交換、検討会

b ひきこもり支援個別相談会

本人、家族を対象としたひきこもりに関する個別相談会に参加しました。（3 回）

(エ) 啓発活動

生活困窮者自立支援事業の理解とセンターの PR のため、地域などで行われる各種会議等で事業の説明、センターの機能の周知を行いました。

(オ) みんなで支え合いバンクの設置

既存の制度では対応できない相談について、次の支援や相談に結び付けるため、個人や企業から提供いただいたインスタント食品等を活用し、食料支援等を行いました。

（新規利用者：97 人、継続利用者：151 人、総利用者：248 人、支援回数：385 回）

(カ) 居場所「い〜ばしょ」づくり事業

生きづらさを抱える相談者の支援として、居場所「い〜ばしょ」を 9 月に設置しました。相談の場、就労支援の場として活用しました。月 1 回定期開催等。

利用件数：44 件

ク 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯・障がい者、高齢者世帯等に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行いました。

	相談実件数	貸付件数	貸付金額
総合支援資金	3件	0件	0円
福祉資金	54件	5件	2,700,000円
緊急小口資金	152件	24件	1,609,000円
教育支援資金	42件	2件	770,000円
合計	253件	31件	5,079,000円

(2) 障がい者福祉の推進

ア 社会参加促進事業

① 講習会（点訳講習会、音訳講習会、手話奉仕員養成講座）

○各種講習会開催

	開催時期	回数	人数	修了生
点訳講習会	令和5年6月～令和6年1月	29回	6人	6人
音訳講習会	令和5年6月～令和5年9月	15回	8人	8人
手話奉仕員養成講座	令和5年4月～令和6年3月	46回	20人	16人

② 教室（グラウンドゴルフ、フライングディスク、車椅子ダンス）

○各種スポーツ教室

	開催場所	回数	人数
グラウンドゴルフ教室	総合体育館	19回	296人
フライングディスク教室	赤坂スポーツ公園	4回	21人
車椅子ダンス	総合福祉会館	8回	59人

イ 意思疎通支援事業

障がい者のコミュニケーション支援を行い、社会参加の促進を図りました。

(ア) 手話通訳者等派遣事業の実施

派遣回数：291回 延べ時間数：609.5時間 登録者数：67人

(イ) 要約筆記者等派遣事業の実施

派遣回数：44回 延べ時間数：118時間 登録者数：9人

(3) 高齢者福祉の推進

ア 生活支援体制整備事業

介護保険法に基づき生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備の充実を図りました。

(ア) 多職種・他団体との連携

情報発信及び顔の見える関係づくりのため、各地域包括支援センターエリア会議等へ参加しました。

(イ) 地域で支え合う仕組みづくりを推進する活動・会議・研修等への参加（実績：80回）

(ウ) 生活支援活動団体等の関係者のネットワーク構築

① 岐阜県生活支援活動団体情報交換会へ参加しました。（参加者数：5団体10人）

② 市内で活動する生活支援団体等の把握、連携に努めました。（実績：13回）

(エ) 生活支援の担い手の養成、サービス開発等の資源開発、マッチング

① 生活支援ボランティア養成講座（ボランティア部会事業と兼ねる）

高校生等を対象に、地域課題の実情や地域の支え合い活動について理解を深め、生活支援ボランティアなど、次世代の地域活動の担い手を養成することを目的に、「高校生歳末清掃」と併せて生活支援ボランティア養成講座を開催しました。

日 時：12月27日（水） 参加者数：午前26人、午後23人

② マックスバリュ東海移動販売のニーズ調査

③ マックスバリュ東海が実施を予定する移動販売の取り組みに対し、地域包括支援センターとともに、ニーズ調査等について協力しました。

(オ) 社会福祉法人連携協議会に関する取組み

市内の社会福祉法人24法人の加盟による協議会において、公益的な取組の推進及び法人間の顔の見える関係づくり、新たな社会資源としての役割を検討しました。

法人間の情報共有連携を目的とした研修・交流会の他、視察研修会を実施しました。また、加盟法人に呼びかけ、生活困窮者支援に関する事業（フードサポートボックス）を実施しました。

○総会・交流会 7月12日（水）

○視察研修会 11月27日（月）

滋賀の縁創造実践センター（滋賀県社会福祉協議会）

特別養護老人ホーム カーサ月の輪

○研修交流会 3月26日（火）

○フードサポートボックス事業

協力法人：9月⇒8法人 食料寄付数：計 450個

2月⇒5法人 食料寄付数：計 161個

イ 料理教室

コロナ禍で人との関わりや外に出る機会が少なくなった60歳以上の男性を対象に、新たな生きがいの発見や人との繋がりや構築、気軽な交流の場の提供を目的としました。

また、「コーヒーボランティア」として男性のボランティア参加のきっかけづくりを行いました。

開催日 10月18日（水）・10月25日（水）

自家焙煎珈琲 長崎屋（墨俣地区） 各参加者5人

10月28日（土）福祉ふれあいボランティアフェスティバルにて

コーヒー提供ボランティア 参加者7人

(4) 移動支援事業（外出支援サービス）

上石津地区において、要支援または要介護と認定された60歳以上の在宅の高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な方に対し、移送専用車両により指定の医療機関への送迎サービスを実施しました。

【外出支援サービス利用状況】

登録者数：65人 実利用者数：20人 利用回数：延べ110回 利用者数：延べ123人

(5) 福祉団体等活動支援事業

ア 民生児童委員協議会の支援

民生児童委員協議会の活動（毎月役員会、定例民協・三部会研修等）に支援し、助成しました。

イ 保護司会の支援

保護司会活動（社会を明るくする運動等）に助成しました。

ウ かがやきクラブ大垣の支援

かがやきクラブ大垣主催の高齢者福祉大会に助成しました。

エ 身体障害者福祉協会大垣支部の支援

身体障害者福祉協会大垣支部が主催する敬老会及び歳末重度障がい者訪問活動に助成しました。

オ 大垣市手をつなぐ親の会の支援

手をつなぐ親の会が主催する特別支援学級卒業生の激励訪問に助成しました。

カ 大垣市母子父子寡婦福祉連合会の支援

大垣市母子父子寡婦福祉連合会が主催する中卒者激励訪問に助成しました。

キ 介護者の会の支援

認知症高齢者等、要支援・要介護者を抱える家族組織である介護者の会の活動を支援しました。 月1回開催 会員数：14人

4 ボランティア部会

(1) 大垣市ボランティア市民活動支援センター運営事業

ア コーディネート機能の強化

(ア) ボランティア登録の充実と活動状況の把握

ボランティア登録数の推移

	(コロナ禍前) 令和元年度	(前年度) 令和4年度	令和5年度
団体	172 団体	126 団体	130 団体
個人	44 人	45 人	37 人

(イ) 福祉施設、当事者、地域等のニーズ把握とボランティア派遣

ボランティア派遣

ボランティア 派遣件数	内 訳		
	施設・サロン レクリエーション	高齢者施設 傾聴	障がい者施設 傾聴
57 件	52 件	4 件	1 件

イ ボランティア活動支援

(ア) ボランティア保険のPR及び加入促進(社協ホームページ、情報誌を活用)

【主な保険の概要と加入状況】

- ・ボランティア活動保険: 無償で活動するボランティア活動中の事故に備える保険
- ・ボランティア行事用保険: 社会福祉協議会やその構成団体等が主催者である地域福祉活動やボランティア活動の一環として行う行事の事故に備える保険
- ・ふれあいサロン保険: 社協が行うふれあいサロン活動中や社協が主催する行事におけるケガに備える保険

	ボランティア 活動保険	ボランティア 行事用保険	ふれあい サロン保険
加入者数	3,454 人	13,723 人	9,707 人
件数	216 件	124 件	77 件

(イ) 研修会、助成金等の情報提供の充実

社協ホームページ等を活用し、研修会や助成金の情報提供をしました。

(ウ) 大垣市ボランティア連絡協議会との連携と活動支援

役員会への参加 毎月第1木曜日 計12回

各部会への協力 6部会 年4~6回開催

各事業開催に伴う連携・協力

開催日	事業
5月30日(火)	ボランティア連絡協議会総会
10月28日(土)・29日(日)	福祉ふれあいボランティアフェスティバル
3月2日(土)	ボランティア交流会

(エ) 寄付ボランティア(使用済切手、テレホンカード)のPR

社協だよりや情報誌を活用し、寄付ボランティアのPRをしました。

	団体	個人
収集ボランティア	延べ 121 団体	延べ 112 人
整理ボランティア	NTT むすびの会	1 人
令和 5 年度実績	収集量:62kg 換金金額:11,950 円	

(オ) ボランティアルーム及び備品の貸し出し

ボランティアルームを開放し、コピー機・印刷機を設置し貸し出しをしました。

ウ 広報活動事業

(ア) 社協ホームページやブログの活用

ホームページやブログを活用し、ボランティア募集情報やボランティアの活動の様子を紹介しました。

(イ) ボランティア情報誌の発行(年 3 回発行)

ボランティア情報誌『広がれ ボランティアの輪』を 7 月、11 月、2 月に発行しました。

エ 災害ボランティアセンター体制整備の強化

(ア) 関係機関との連携の強化

平時からの顔の見える関係づくりと災害時の連携を目的とした会議に参加しました。

会議名	開催日	参加者
西美濃防災連絡協議会 (主催:大垣青年会議所)	11 月 28 日(月)	大垣青年会議所 2 市 9 町の行政 2 市 9 町社会福祉協議会
大垣市災害ボランティア連携会議 (主催:大垣市)	12 月 26 日(火)	大垣青年会議所 大垣西ロータリークラブ 大垣市赤十字奉仕団 西美濃農業協同組合 西濃農林事務所 大垣市 大垣市社会福祉協議会

(イ) 研修の実施

能登半島地震の情報等を踏まえて、3 月 13 日(水)に「災害対策本部・災害ボランティアセンター設置に伴う訓練」を職員を対象に実施しました。

(2) ボランティア育成研修事業

ア 育成研修事業

(ア) 初心者ボランティア講座

小・中・高校生を対象にボランティアを始めるきっかけづくりを目的に開催しました。

開催日	内容	参加人数
8 月 2 日(水)	プレーパーク・子ども食堂を体験 (講師:ぎなんプレーパーク)	17 人

8月9日(水)	バルーンアートを学び子ども食堂で披露 (講師:大垣市レクリエーション協会)	17人
---------	--	-----

(イ) 生活支援ボランティア養成講座

12月27日(水)、市内の高校に通う高校生に生活支援ボランティアについての学習と体験の機会を提供し、高齢者の方と交流し、地域で生活する人々が共生できるボランティアの心づくりを目的に開催しました。

(ウ) 子どもの居場所サポーター養成講座

子どもが安心して過ごせる「第三の居場所」である学習支援や居場所づくりについて考える機会と、実際に子どもを取り巻く環境の現状を知り、携わることができるきっかけづくりを目的に開催しました。

開催日	内容	参加人数
7月20日(木)	講義:「子どもを取り巻く環境と課題」ほか (講師 瑞穂市社会福祉協議会) 事例・活動発表(講師 NPO 法人つなぐわ)	9人
7月26日(水)	見学・体験:みんなの居場所@西公園	12人

(エ) 傾聴ボランティア養成講座

傾聴という聴き方を学び、体験学習を通して、傾聴ボランティアの育成、ボランティア活動へのきっかけづくりを目的に開催しました。

開催日	内容	参加人数
9月5日(火) 12日(火) 20日(水)	傾聴に関する講座	9人
9月27日(水)	認知症に関する講座	

イ ふれあい交流事業

(ア) 福祉ふれあいボランティアフェスティバルの開催

「誰もが住みよい福祉のまちづくり」を目指し、楽しく出会い、ふれあい、集える交流の場として、10月28日(土)・29日(日)総合福祉会館で開催しました。

来場者数 1,500人(2日間)

(イ) 高校生歳末清掃活動

高校生ボランティアによる歳末訪問活動を12月27日(水)に実施しました。

参加者 49人 訪問件数 17件

(ウ) 高校生メッセージボランティア

高校生からのメッセージカードを、1月実施の食事サービス事業でお弁当と一緒に届けました。

(エ) ボランティア交流会

3月2日(土)、地域で活躍する『多様な居場所』づくりを行う団体から話を聞き、自分たちの活動を振り返りながら、今後の活動についてや他団体との交流を図りました。

参加団体数 30団体 参加人数 53人

ウ 子育て支援事業

(ア) サマースクール、ウィンタースクール

小学生を対象に、子どもの居場所として8月と2月に開催する予定でしたが、2月の週末開催はニーズがないため、長期休暇の夏休みに2回開催しました。

開催日	内容	参加人数
7月25日(火)	宿題 バランスボールで跳ねて弾んで！楽しくSDGsを学ぶ	8人
8月18日(金)	宿題 災害時にも役立つパン作りの講座を通して防災を学ぶ	9人

(イ) 子育て応援事業

a 母子・父子家庭を対象としたお弁当の配布

児童扶養手当を受給するひとり親家庭世帯等に対し、お弁当とお菓子をプレゼントしました。

実施日 9月9日(土) 利用者数 176世帯 484人

b 母子・父子家庭を対象とした新入学児童ランドセル購入の補助

令和6年4月に小学校に入学予定の児童がいるひとり親家庭世帯等に対し、入学に必要な準備品の購入費として、ギフトカードと図書券をプレゼントしました。

利用者数 37世帯

(3) 福祉共育推進事業

ア 福祉協力校指定事業

(ア) 市社協福祉協力校の指定

社会福祉への理解と関心を深めるため、市内の保育園・認定こども園・幼保園・幼稚園・小・中・高等学校を福祉協力園・福祉協力校に指定しました。

(イ) 福祉協力校援助事業

福祉学習への講師派遣、協力、体験グッズ等の貸し出しを行いました。

講師派遣・協力件数 23件 グッズ貸出件数 5件

(ウ) 福祉協力校研修事業

2月13日(火)に、福祉共育への理解と、情報共有を図るため、各学校の担当教諭を対象に、福祉協力校連絡会を開催しました。

参加校数 18校

イ 子どもの意見を聞く会

2月3日(土)、市内11校の代表が、社会福祉について日ごろ考えていることや実践していることを発表しました。

【発表校】

- ① 東小学校 ② 南小学校 ③ 日新小学校 ④ 宇留生小学校 ⑤ 綾里小学校 ⑥ 川並小学校
⑦ 小野小学校 ⑧ 赤坂小学校 ⑨ 一之瀬小学校 ⑩ 時小学校 ⑪ 墨俣小学校

ウ 福祉共育を推進する事業

地域に住む子どもたちが、福祉の学習を通じて地域と共に育ち、地域の一員としてつながり、支え合う地域づくりのきっかけとして「子ども福祉委員事業」を実施しました。

実施校: 大垣市立川並小学校(5年生・6年生)